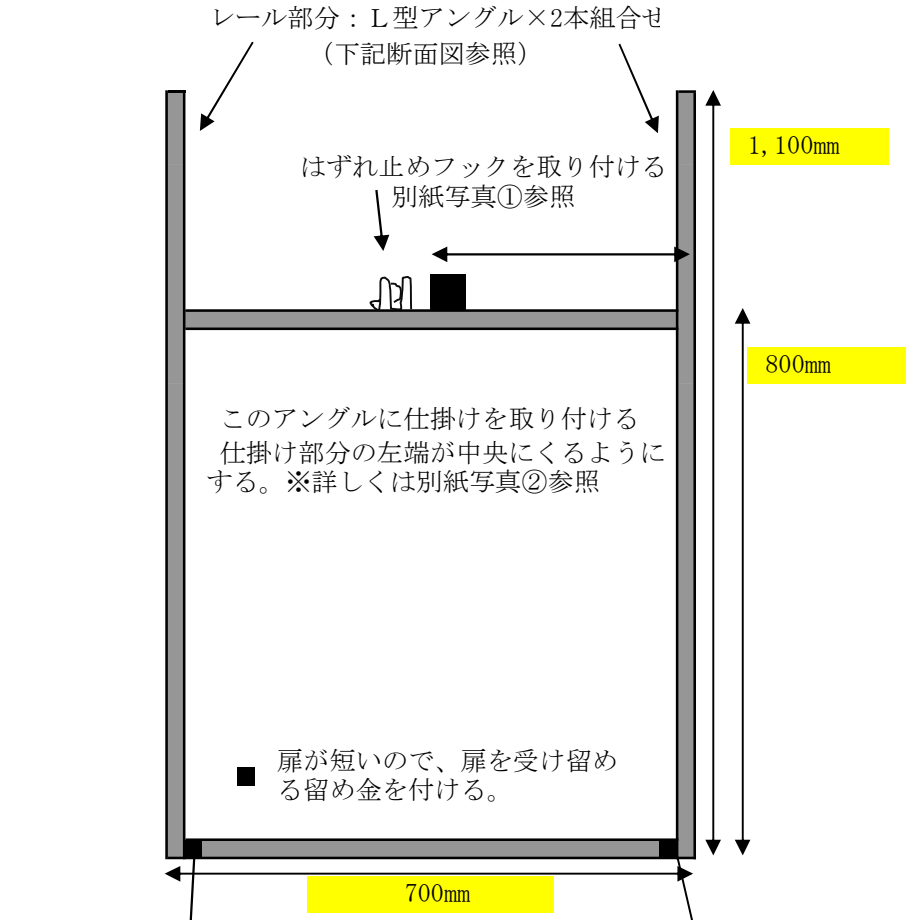
仕　　様　　書

1	品　　名	イノシシ捕獲用 箱わな
2	数　　量	４２基（うち伊万里市３６基、有田町６基）
3	納品場所	・佐賀県猟友会伊万里支部が指定する場所 ・有田町役場（有田町立部乙2202）
4	納品期限	令和９年２月２６日（金）
5	寸　　法	幅×高さ×奥行（700㎜×800㎜×1,500㎜）
6	材　　質	鉄製（使用に耐えうるもの） ・鉄筋φ6ｍｍ ・鉄筋φ9ｍｍ ・Ｌ型アングル幅25ｍｍ以上 ・その他、ストッパーや仕掛け部分に必要な部材を使用する。
7	塗　　装	溶融亜鉛メッキ（ドブ付け）
8	形　　式	片落ち扉式
9	特　　徴	仕掛け部分については、図面を参照。
10	そ の 他	・各面の格子（メッシュ部分）の隙間については、設計図に示したとおりとする。 ・扉上部には、必要な部材を使用してイノシシ脱出防止用のストッパーをつける。 ・正面部には、扉を止める金具を取り付ける。 ・鉄筋同士が交差する部分は両側とも溶接する。 ・スパッタ（溶接の際に飛散する金属粒）や、スラグ（溶接部に発生する非金属物質等）は塗装前に取り除くこと。 ・イノシシによる箱わなへの衝突や捕獲後に箱わな内で暴れること等が考えられるため、それに耐えうる強度を保つこと。

正面

Ｌ型アングル（幅：25㎜）
鉄筋（φ9㎜）
鉄筋（φ6㎜）







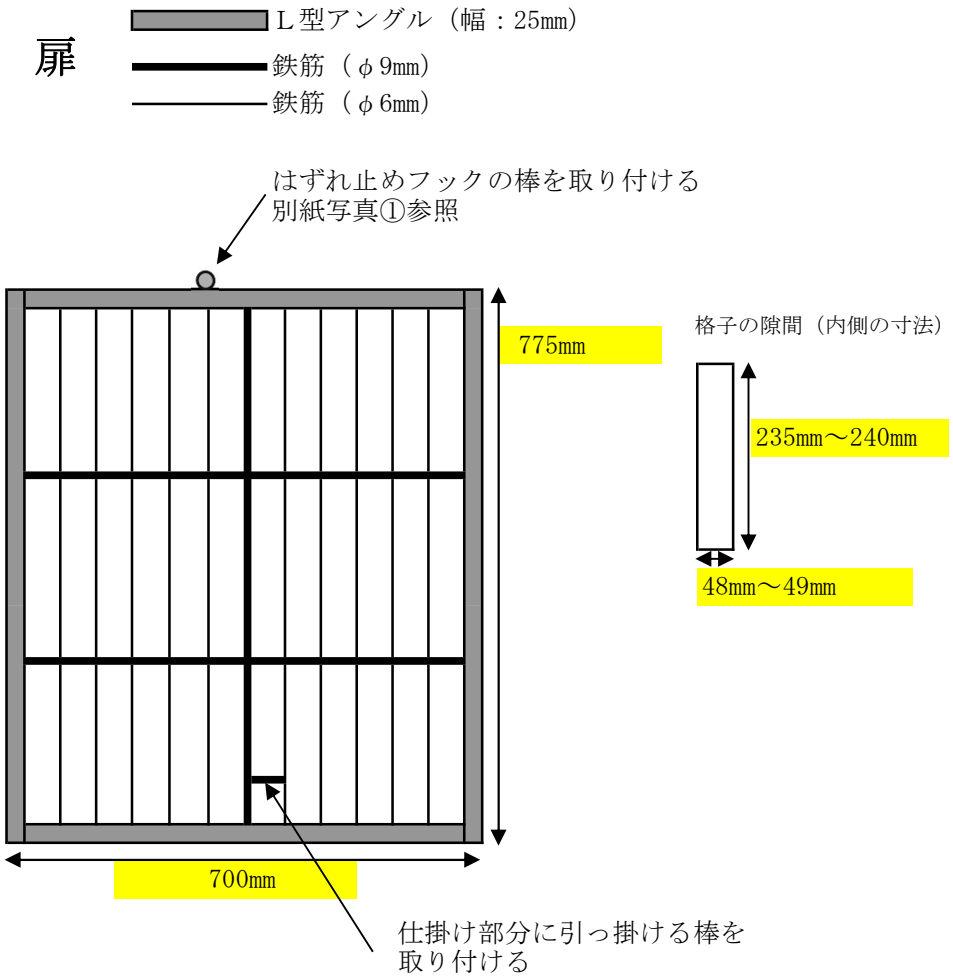
◎レール部分の断面図（真上から）

Ｌ型アングルの空間については、扉の開閉に支障がないようにする。



Ｌ型アングルを2本組合せ、レールとする。　　わな外側

扉



メッシュ部分（アングルの内側）について

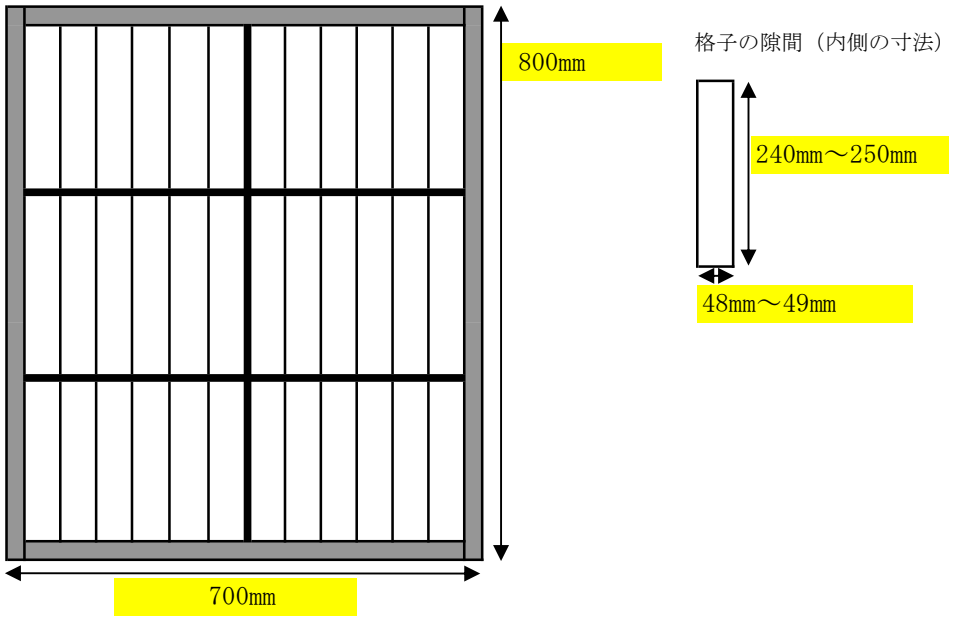
◎縦の鉄筋
真ん中には補強の為にφ9㎜鉄筋を使用し、その他はφ6㎜鉄筋を使用する。

◎横の鉄筋
鉄筋については9㎜鉄筋を使用する。

※背面、及び扉については、イノシシによる突進が考えられることから、
側面と比べ格子の隙間を狭くし、強度を持たせる。

背面

Ｌ型アングル（幅：25㎜）
鉄筋（φ9㎜）
鉄筋（φ6㎜）



メッシュ部分（アングルの内側）について

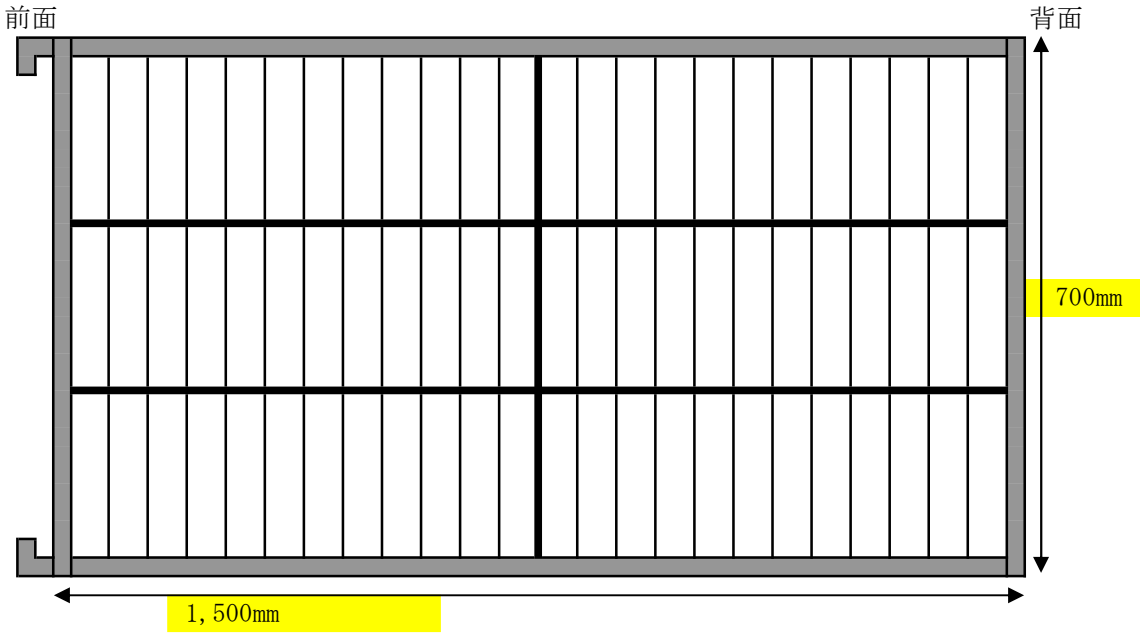
◎縦の鉄筋
真ん中には補強の為にφ9㎜鉄筋を使用し、その他はφ6㎜鉄筋を使用する。

◎横の鉄筋
鉄筋については9㎜鉄筋を使用する。

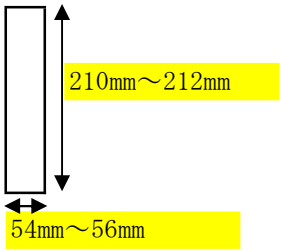
※背面、及び扉については、イノシシによる突進が考えられることから、
側面と比べ格子の隙間を狭くし、強度を持たせる。

天井

Ｌ型アングル（幅：25㎜）
鉄筋（φ9㎜）
鉄筋（φ6㎜）



格子の隙間（内側の寸法）



メッシュ部分（アングルの内側）について

◎縦の鉄筋
真ん中には補強の為にφ9㎜鉄筋を使用し、その他はφ6㎜鉄筋を使用する。
仕掛け固定用アングルについては、別添の写真を参照。

◎横の鉄筋
鉄筋については9㎜鉄筋を使用する。

側面

Ｌ型アングル（幅：25㎜）

鉄筋（φ9㎜）

鉄筋（φ6㎜）

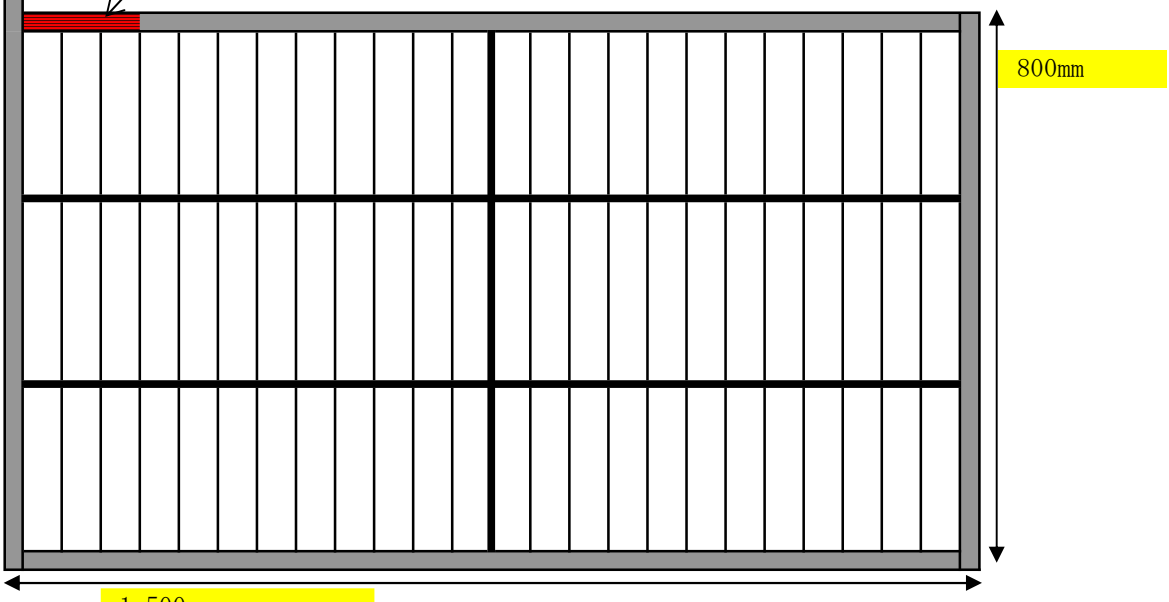


危険防止のため、角を面取りする。また、金属プレートを取り付ける側の上部に直径5㎜以下の穴をあける。（扉の開閉に支障が無いようにすること。）

前面

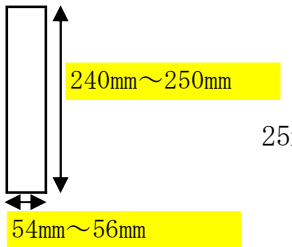
この部分に金属プレートを取り付ける。

背面



100ｍｍ程度

格子の隙間（内側の寸法）



25㎜程度

伊有協議会　Ｒ８－伊○○

25㎜程度

伊有協議会　Ｒ８－有○○

２か所にリベット止め

○○の部分には通し番号として、１から番号をふる

メッシュ部分（アングルの内側）について

◎縦の鉄筋

　真ん中には補強の為にφ9㎜鉄筋を使用し、その他はφ6㎜鉄筋を使用する。

◎横の鉄筋

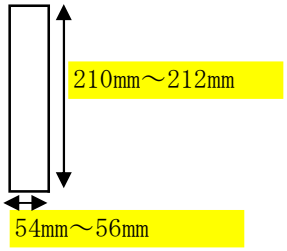
　鉄筋についてはφ9㎜鉄筋を使用する。

底面

Ｌ型アングル（幅：25㎜）
鉄筋（φ9㎜）
鉄筋（φ6㎜）



格子の隙間（内側の寸法）

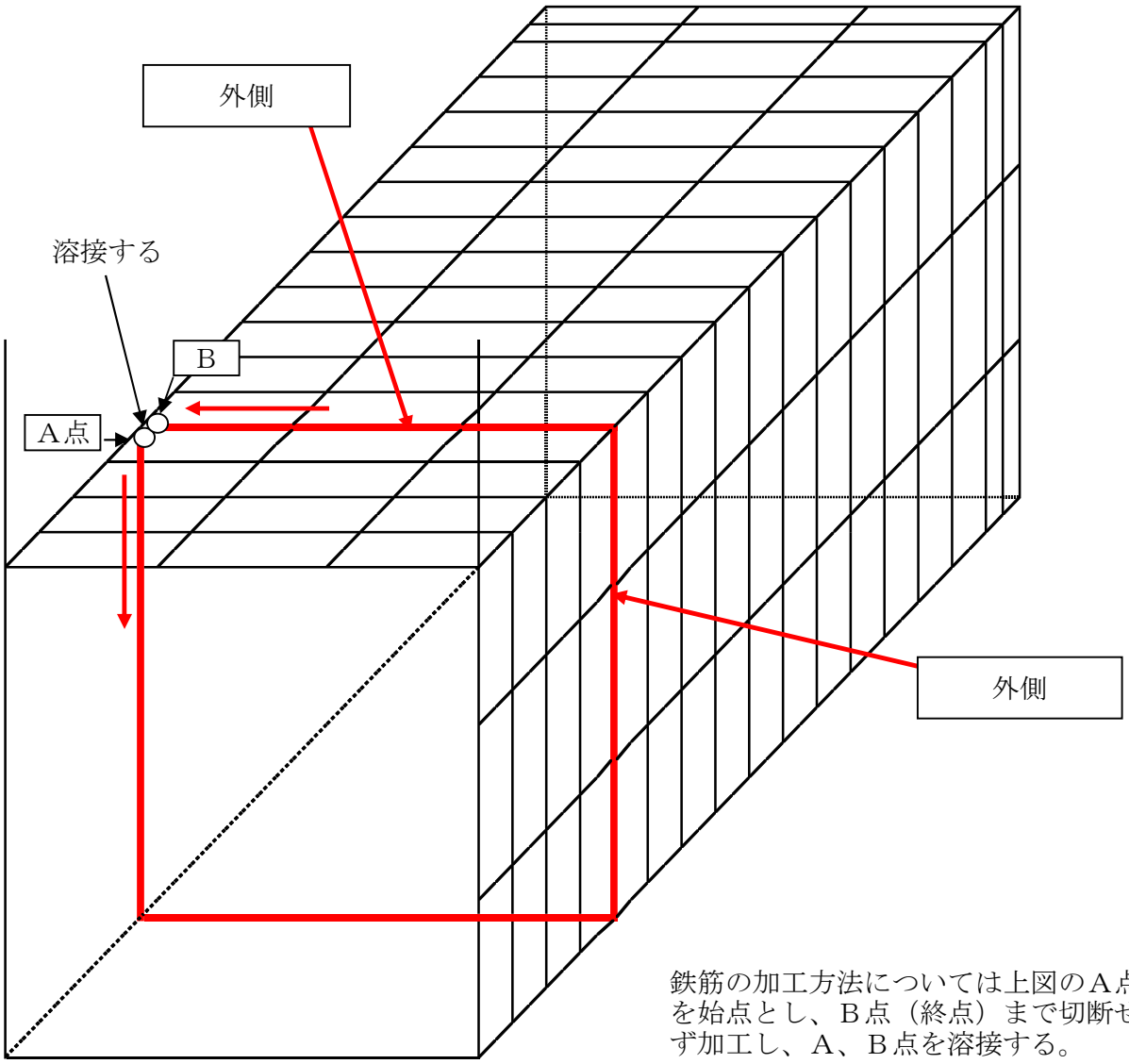


メッシュ部分（アングルの内側）について

◎縦の鉄筋
　真ん中には補強の為にφ9㎜鉄筋を使用し、その他はφ6㎜鉄筋を使用する。

◎横の鉄筋
　鉄筋については9㎜鉄筋を使用する。

鉄筋の加工方法について



鉄筋の加工方法については上図のＡ点を始点とし、Ｂ点（終点）まで切断せず加工し、Ａ、Ｂ点を溶接する。